



＝グループ旅行 1泊班 会津・大内宿方面＝



第105号
発行

〒970-8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地
TEL (0246) 23-5311
FAX (0246) 23-5312
はまぎく荘新聞編集委員会
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>
E-mail: kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

- 1面 人の力は無限なり
医務だより
- 2面 グループ旅行
クリスマス&忘年会
- 3面 芋煮会
九品寺幼稚園との交流会
ビッグ・アイ アートプロジェクト
- 4面 新職員紹介
愛護の会研修旅行
厨房改築/永年勤続者/寄付/
おまつりの報告/編集後記



若い職員の考えていることを「今どきの人の考え」として捉えるのではなく、「新しい発想」と捉え、新鮮かつ前向きな考えと評価することを、先日、東北地区知的障害者福祉協会職員研修会に参加して気づかされました。

今回の研修は、今までにならぬ若い職員の発想を熱く語り、熱く振る舞い、この仕事の夢、誇りを共有しようと東北地区の絆を独創的に企画されました。真摯に本気で福祉に取り組むからこそ、課題や悩みが生じるもの。皆さん誇りを持って仕事に従事しているのが伝わってきました。

中でも、うれしかったことは何ですかに「利用者さんが笑顔を見せてくれたとき」「名前を呼んでくれたとき」。つらかったことは何ですかに「利用者さんが寝てくれないとき」「利用者さんが伝えようとしていることが理解できないとき」等、若い職員が故の感じ方だと思います。

さて、若い職員のパワーを尊重し、利用者の支援を考えたい時、先輩職員は、どう対応すればよいでしょうか。専門的な支援が期待されるはずです。利用者の特性を理解し、多方面からの支援に努めるノウハウを、今までの経験を生かして助言と共感をしましょう。もちろん利用者主体の接し方を示す先輩職員の存在があつてこそです。

専門的知識や技術を常に磨くという姿勢を持ち続けることは、次代を担う職員のあるべき方向に導く原動力となります。それから、実際は、うまくいかないこともあります。その時は、目を背けず、失敗に学ぼうとする姿勢を持つことが大切です。

先頃、金星を回る軌道への再投入に挑戦した金星探査機

「あかつき」が、投入に成功したニュースは夢と感動を与えてくれました。挫折に耐えて五年、あかつきが撮影した金星には、しま模様がついていました。

人間の無限の力を信じて、くじけず、前向きな姿勢でがんばりましょう。



医務だより

感染予防について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの流行の季節です。うがい・手洗い・消毒・マスクをかけて予防しましょう。利用者さんも高齢者が多くなっているため、少しでも変化があれば、早期通院を心がけましょう。

職員も風邪予防の為、免疫力を高める適度な運動を行い、体温を上げましょう。また、ビタミンCを多く含む果物(いちご・バナナ)を取り、風邪に負けない体づくりをして、みんなで乗り切りましょう。



グループ旅行

日帰りスイーツの旅

七月九日(木)日帰り班の旅行を行いました。市内観光との事で白水阿弥陀堂を散策する計画をたてましたが、前日からの雨の為、急遽グルメツアーに予定を変更しての実施となりました。小名浜「心源」で豪華な寿司御膳を舌鼓し、職員お勧めの「ゼリーの店」で美味しいスイーツを頂きました。グルメの日帰り旅行最高でした。

日帰り班 男子

六月十六日、グループ旅行日帰り班の第一弾として、男子の利用者で茨城県の那珂湊で回転寿司の食べ放題とひたちなか海浜公園に出かけてきました。荘を出発してから高速道路でお店に直行、早速好みのお寿司を選んで、今ではなかなか食べられない鯨の肉を選ぶ人もいました。

お腹が一杯になった後は、ひたちなか海浜公園を散策、あいにく曇り空でしたがソフ

トクリームを食べたり、家族へのお土産を買ったりして、無事に荘に帰りました。

日帰り班 女子

八月三日私たち女子日帰り班は八幡屋へ行ってきました。刺身や鍋・色鮮やかな小鉢など美味しい昼食をいただき、カラオケをしたり、温泉に浸かってのんびりしたり、ゆったりとした時間を過ごしました。お土産もそれぞれ選んで購入し、過ごしてきました。たくさん温泉ありましたから、また行きたいですね。

1泊班 女子

十月七〜八日、会津・大内宿方面に行ってきました。今年、『利用者さん四名、職員二名という小グループで、バスや電車を利用して行く』という試みを行いました。事前に見学をして、入念な計画を立てたつもりでしたが、予想外の事もあり……しかし、赤べこ・起き上がり小法師の絵付けの他、幻想的な夜

の大内宿の見学や大内ダムで皆で寝転がって満天の星を眺め……予想外の体験もでき、とても思い出深い旅行となりました。

1泊班 男子

十月七日〜八日男子六名だけの小旅行に行ってきました。場所は横浜です。今回はしばらくやっていなかった電車での乗り継ぎを体験することを目的に時間に縛られることなく自由気ままにカップヌードルミュージアムや、赤レンガ倉庫の観光を楽しんできました。夜は名物「中華街」の食べ放題を満喫しました。またやりたいなあ〜！

1泊班 混合

十一月四日に、市内の一泊旅行が行われました。デイクルーズでゆっくりと過ごし、また、ら・ら・ミュウ内で食事や買い物も楽しみました。「松柏館」に宿泊し、美味しい食事や気持ちの良い温泉に浸かり、楽しいひとときを過ごしました。



クリスマス & 忘年会

一年の締めくくりの行事は、クリスマス・忘年会！今年も、パレスイわやで行ないました。

一部のクリスマス会は、黒田牧師さんに聖書拝読とクリスマスのお話をしていた。



ただき、クリスマスの歌をみんなで歌って、職員がサントさんになってプレゼントを渡してもらいました。二部の忘年会は、料理を楽しみながらスクリーンで……女子は猫ダンス、男子はフラダンス……笑いました！そしてサプライズの、新人職員さんたちによる替え歌ダンスで、一年を振り返りました。あつという間の楽しいひととき……クリスマスプレゼントを胸に帰路に着きました。



十月二日、毎年恒例の保護者と一緒を楽しむ「芋煮会」が行なわれました。前日雨や風が強くなり心配でしたが、当日は雨も止んで暖かく、過ごしやすい天気になりました。

最初に作業棟にて、福祉レクの先生によるミュージックケアを行なった後、職員が「あたりまえ体操」を披露しました。面白い動きに利用者さんから大きな笑い声が聞かれました。

暖かくなった後、外に出てパン食い競争を行ないました。お目当てのパンに向かって一目散にダッシュしてしましました。

その間に豚汁やおにぎり、から揚げが出来上がりました。今回は厨房の協力を頂き、手作りの物を提供できました。

食事を受け取った利用者さんは、保護者の方と一緒にそれぞれ好きな場所で食事を楽

しみました。利用者さん、保護者の方共に年々高齢化が進んでおりますが、今後も職員を含め一堂に会する機会を提供していきたいと思っております。



九品寺幼稚園との交流会



十一月五日に、平窪地区に

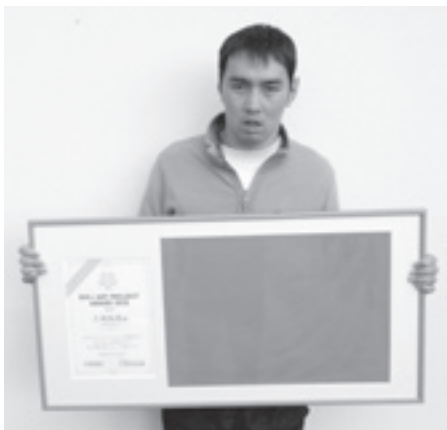
あります九品寺付属平窪幼稚園との交流会がみはま体育館にて開かれました。はじめに対面式を行い、自治会会長の出崎一彦さんから「今日は一緒に楽しく過ごしましょう。」と元気に挨拶をされました。園児たちによる鼓笛演奏を披露

していただき、その可愛らしい姿に皆さん表情が柔らかくなっていました。その後は、園児たちと一緒にトンネルくぐりや大玉転がしなどのレクリエーションを行いました。元氣いっぱいな園児たちと体を動かして疲れた後は、皆と豚汁とおにぎりを食べて、また笑顔が溢れました。

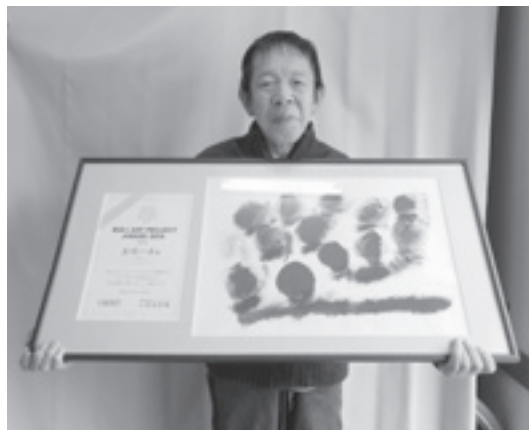


ビッグ・アイ アートプロジェクト 佳作入選!

ビッグ・アイアートプロジェクトは、障がい者によるアート作品を社会に発信する中で、世界の国々と人権や言葉、障がいの有無を超えた交流を進めています。はまぎく荘では今野峯生先生の協力で月に一回の創作教室が行われています。そこに参加した三嶋さん、赤と白の絵の具を混ぜ太めの筆で心行くまで描きました。



三嶋拓哉 作 「あの日の夕やけ」
大阪での表彰式には家族と参加してきました。



出崎一彦 作 「きのこ」
繊細かつ力強いタッチで描きました

新職員紹介



支援員
吉原 磨紀

七月から勤務しています、吉原磨紀と申します。

福祉の仕事は初めてで、不安はたくさんありますが、利用者の方々や先輩方から多くの事を学び、とても充実した日々を送っています。

毎日、笑顔を忘れず成長出来るよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



パート支援員
芳賀 良枝

七月よりパート支援員としてお世話になってる芳賀です。よろしくお願ひ致します。

二月に東京よりいわきに越して来た為、いわきの事もわからないまま、はまぎく荘でお世話になってます。最初は不安と戸惑いもありましたが、利用者さん、職員の皆様

に御指導いただきながら、過ごさせて頂いております。今後は、利用者さんが笑顔で生活できるようにお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

愛護の会研修旅行

十月二十一日〜二十二日と「みはま愛護の会研修旅行」は今年山形方面にかけました。研修先は寒河江市内にある「社会福祉法人 さくらんぼ共生会」さくらんぼ共生会「を見学させていただきました。日中活動の一つである遊樂焼きを利用者の方と一緒に体験をしてきました。普段粘土に触る機会はないので保護者も職員も夢中になりながら作品を作りました。生活介護・就業の事業を行っており、農産物の販売もあり、保護者は少しでも収益になればと、色々な物を沢山購入してました。展示会があるとの事で、施設内は活気にみちており、みなさんが生き生きしてまし

た。今回の参加者は保護者は二十三名、内はまぎく荘からは五名の参加で有意義な研修をすることができました。この日に結婚六十周年を迎えたご夫婦がいました、保護者みんながお祝いしようと懇親会はとても盛り上がり、「今年の参加者は来年も、来年は新しい参加者も」を合言葉で今回の研修も無事に終わりました。

厨房改築

はまぎく荘の厨房は、開設以来休みなく利用者の皆様への食事提供に日々使用され、かなり老朽化も進んでいました。長年、改修工事を希望しておりましたが、この度やつと改修のはこびとなりました。

九月からは、はまなす、はまぎく別々に食事作りはじめ、厨房の設備にみあった食数の食事提供が行われるようになります。また、保健所の指導のもと、床もドライシステムへ変更し食器乾燥機も以前より大型の物へ交換しました。食器の他ボールやザルなども乾燥してから使用でき

永年勤続者紹介

第五十三回

全国知的障害福祉関係職員研究大会

〈勤続二十年〉

主任支援員 中井 昭一

第四十一回

いわき市総合福祉大会

〈勤続十年〉

支援員 杉本 一彦

支援員 夏見 友和

るようになり、衛生的な環境で食事提供が行われるようになります。以前よりも安心安全な食事を提供できております。今後も利用者の皆様においしい食事が提供できるように日々努力していきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。



寄付

北関東空調工業株式会社様
クレハ労働組合様

おまつりの報告

第三十九回みはま福祉祭inはまぎく、今年は名前の通り、はまぎく荘がメイン会場となり、天気にも恵まれ無事終えることが出来ました。来場・ご出演いただいた皆様ありがとうございました。

編集後記

寒さ厳しく、乾いた冷たい風が感じられる季節となりました。皆様、体調は崩されておられませんでしょうか。

つい先日、とある利用者さんとの会話にて。「ふふふ」とそれは楽しそうに笑っているその方にどうしたのか尋ねると、「犬を思い出したんだ」と一言。どんな犬なのか聞いてみると「足の長い犬なんだ、かわいいんだ」と更に笑顔に。昔飼っていた犬なのでしょう、ただか楽しそうなその方を見て、私もつい一緒に笑ってしまいました。こんな寒い季節でも、人とは暖かいものだと思えて感じた時間でした。まだ寒さも続きます、お体に気をつけてお過ごしください。